

市民の健康「塩対応」!

市役所が塩対応(愛想のない、冷淡な対応)をするという意外性を狙い「塩対応いたしません」をキャッチフレーズに、寝屋川市は食塩の適量摂取をサポートする適塩推進事業に取り組んでいる。

塩分の取り過ぎが原因の1つとされる高血圧症は、動脈硬化、脳卒中や心筋梗塞などの病

気を引き起こすことにつながる。市では、管理栄養士を中心に適塩の工夫を学ぶ教室や適塩レシピ、健康づくりのシリーズ教室で自身の推定食塩摂取量を調べるための尿検査を実施。市内の飲食店とコラボした親子料理教室の開催や保健指導での適塩サポートをしている。



寝屋川市役所前の意外性アピール効果